

2013年7月8日

日本アライアンス教団
各教会・伝道所 御中

日本アライアンス教団
理事長 田村耕造
伝道部長 田中 忍

「2012年度 東日本大震災支援献金のご報告とお願い」

主の御名を賛美いたします。

さて、2011年3月11日、東日本を襲った大地震と大津波により被害を受けた人々を支援するために2012年度も支援献金を教団事務局までお送り下さいましたことを、深く感謝いたします。本支援献金は、下記の表に示していますように、教団支援活動費として用いさせた頂いた他に、石巻ニューライフセンター支援費として日本アライアンス・ミッション本部に送金いたしました。次年度繰越金は、2013年度の支援活動費として用いる予定です。

2012年度 東日本大震災支援献金 会計報告

収 入		支 出	
前年度繰越金	1,411,067	教団支援活動費	86,880
支援献金	573,760	ニューライフセンター支援	300,140
利 息	4	次年度繰越金	1,597,811
合 計	1,984,831	合 計	1,984,831

<2012年度 支援活動報告>

- ① 東北地区での支援活動を継続的に進めていくために、伝道部に支援活動係を設け、小手指アライアンス教会の久富昭彦牧師に担当して頂くことを決めた。
- ② 石巻市内の被災地で行われた教会主催の演奏活動（9月8日～9日）に協力した。

③ 東北支援活動のため、10月29日～30日、田中理事と久富師が石巻市に行った。

活動内容 1日目： 石巻市内で被災者支援コンサートに参加（黄金浜会館）
渡波キリスト教会で鈴木牧師と面談し、ボランティア活動の状況、キリスト教支援団体の動き等をお聞きした。

2日目： 石巻ニューライフセンターを訪問し、サマリタンズ・パースのスタッフから周辺地域の現状をお聞きした。

被災地は、ボランティア活動の内容が家屋の修理、後片付けから、漁村の支援、仮設住宅の高齢者支援、子供たちに対する教育支援へと変わってきている。

キリスト教支援団体は、ボランティア活動から教会形成へと動き出している。

現状は、ボランティア活動がまだまだ必要であり、伝道活動よりも、被災者支援活動を主体として進めることが相応しいと感じた。

④ 災害対応チャプレン養成コース（主催：東日本大震災救援キリスト者連絡会、会場：成田ビューホテル、期間2月5日～7日）に久富師が参加した。

<今後の支援活動についてのお願い>

東北被災地の復興は長期間かかる状況にあることから、教団として今後も支援活動を続けていくことを考えております。その中で、特に石巻ニューライフセンターの働きに対しては、経済的、人的支援活動を継続して行う予定でおります。

本年、1月にCAMAから派遣されたリーザ夫妻が石巻ニューライフセンターに住んで支援活動を開始しています。また、6月には、ミッションのアラン・クロープ宣教師と家族が石巻市内に住居を得て、支援活動と伝道活動に着手する準備を始めております。

今のところ教団は、石巻ニューライフセンターを拠点として行われる支援活動に協力しながら、現地の支援団体、教会の支援活動にも関わっていくことを考えております。

石巻ニューライフセンターでの支援活動が進む中で、ボランティアを必要とする状況になりましたら、後日お知らせいたします。

また、教団の教会において、東北の被災地を視察することを計画する場合には、伝道部までお知らせください。現地の詳しい情報をお伝えすることができます。

以上の内容を御理解下さり、本年度も皆様方のご加禱とご支援を宜しくお願い申し上げます。